

坂本病院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人松栄会坂本病院
開設主体	医療法人
所在地	柳井市余田3626番地の2
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	100床 療養病床 100床 慢性期 100床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	100床 療養病床 100床 慢性期 100床
診療科目	内科・胃腸科・循環器科・呼吸器科・小児科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	97名 9名 61名 17名 10名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 療養病棟入院基本料2

平均在院日数 454日

病床稼働率 98.3%

② 自施設の課題

・人工透析患者等の医療区分2・3の重症入院患者が多く、また高齢患者も多いため、脳梗塞、脳出血等の脳疾患や急性肺炎等の発症者も多く、また介護老人保健施設や特別養護老人ホーム等を計428床運営しているため誤嚥性肺炎の患者の緊急入院も多くありますが、急性期病院にて高齢等のため保存的加療と判断されるケースの場合は自院にて治療を行い、急性期から慢性期まで自己完結している側面もあり、慢性期病院としてはある意味理想的な現状であろうかと認識しています。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

・周東総合病院への負担を少しでも少なくすべく、従来通り誤嚥性肺炎や保存的加療対象の脳疾患等の治療を自院で行いながら、慢性期への移行患者さんの受け入れを行っていかうと思っています。

② 今後持つべき病床機能

・当院の現状においては、病床稼働率が示すとおり療養病棟の病床数が足りていないが、増床は見込めないため現状を維持し、足りない部分は老人保健施設等を一部重症化していくしかないのであろうと考えている。

③ その他見直すべき点

・上記で述べたとおり、当院としては病床数が不足しているので現状を維持していくしかないと思われる。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	100床		100床
休棟等			
(合計)	100床		100床
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--